



「戦争立法」への批判解説

解説 札幌弁護士会 憲法委員会委員
資料 会場にて提供

緊急市民集会 日弁連 集団的自衛権行使容認に反対する全国キャラバン

日本は再び「戦争」をするのか

～集団的自衛権と安保法制の目的とは～

日時 2015年6月11日(木) 18時30分開演(18時開場)

場所 エルプラザ ホール(札幌市北区北8条西3丁目)

予約不要
入場無料

・ 講演 ・ ジャーナリスト 森 達也 氏

「すべての戦争は自衛意識から始まる」

いよいよ閣議決定に基づく「安保法制」が国会に上程されます。政府は、国を守るためには集団的自衛権は必要だ、国際貢献のためには自衛隊派兵が必要だ、と言っています。しかし、それは本当でしょうか。

集団的自衛権は、本当にこの国を守るものなのでしょうか。

自衛隊派兵することが真の国際平和への貢献なのでしょうか。

国民は、世界の人々は、日本が戦争できる国に変わることを求めているのでしょうか。

そもそも、このようなことは憲法上許されることなのでしょうか。

札幌弁護士会憲法委員会が「安保法制」の内容と問題点を解説。森達也氏の講演とパネルディスカッション、会場質疑で議論を深めます。



講師：森達也（もりたつや）
1956年5月10日 広島県呉市生まれ。
1986年テレビ番組制作会社に入社。以降、報道系、ドキュメンタリー系の番組を中心に、数々の作品を手がける。1998年オウム真理教の荒木浩を主人公とするドキュメンタリー映画『A』を公開。2001年続編『A2』が、山形国際ドキュメンタリー映画祭で特別賞・市民賞を受賞。
近著に、『A3』（集英社インターナショナル）、『僕のお父さんは東電社員です』（現代書館）、『311を撮る』（岩波書店/共著）、『すべての戦争は自衛意識から始まる』（ダイヤモンド社）などがある。

主催 札幌弁護士会 札幌市中央区北1条西10丁目 札幌弁護士会館 7階 TEL 011-281-2428
共催 日本弁護士連合会・北海道弁護士会連合会

